



三好ジオパーク

第2期（2025-2028年度）実行計画書



2025年5月
三好ジオパーク推進協議会

目次

第1章：三好ジオパークの活動のテーマ、ビジョン・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 三好ジオパークの特徴とテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 三好ジオパークのビジョン・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3. 三好ジオパーク推進体制（組織図）・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4. 第1期実行計画の活動の評価と第2期実行計画策定の位置付け・・・・・・・・	4
5. 第2期実行計画の実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・	5
第2章：第1期実行計画の活動の評価と第2期実行計画について・・・・・・・・	6
1. 第1期実行計画の活動と評価・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2. 第2期実行計画で目指すもの・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3. 第2期実行計画について・・・・・・・・・・・・・・・・	8

表1：第2期実行計画について

表2：サイト-三好の大地が育んだ守るべき宝物（2025年度版）



第1章：三好ジオパークのテーマ、ビジョン

1. 三好ジオパークの特徴とテーマ



三好ジオパークの活動は2017年4月から開始、2020年5月に三好ジオパーク構想推進協議会が発足、さらに2022年には東みよし町の参画と、体制や活動の推進・拡充を行ってきました。そして2024年度に日本ジオパーク認定審査に挑み、同年10月9日、国内47番目の日本ジオパークに認定され、「三好ジオパーク」が誕生しました。

三好ジオパークのテーマは、「動く大地が創った空へつづく集落と吉野川の流れ」です。当エリア北域を東西方向に貫く「中央構造線」は各時代にずれ動く方向を変えました。当エリアの池田町で流路が大きく変わる吉野川は、約300万年前から現在までの中央構造線の活動が関係して形成されました。また、当エリアの山間部には、斜面の集落「傾斜地集落」が点在しています。これらの集落は、周辺の山の斜面と比べて緩やかな場所に形成されています。この緩やかな斜面を創り出したのは、過去から現在まで発生してきた「地すべり」が関係しています。このように、中央構造線や地すべりなどの「動く大地」が、傾斜地集落の土台や吉野川の流路変更などの特徴ある景観を誕生させました。

2. 三好ジオパークのビジョン

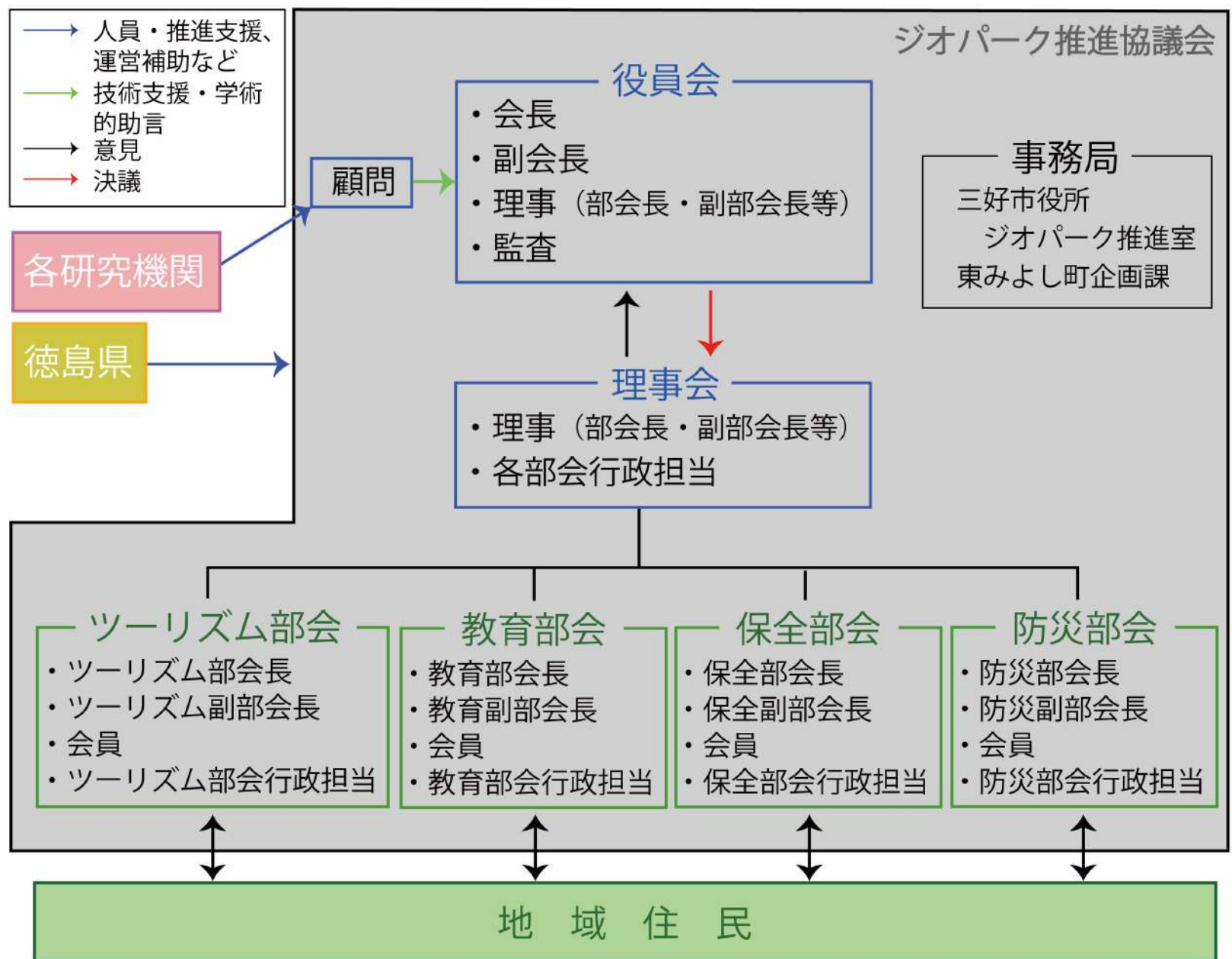
三好ジオパークの景観を構成する多様な地域資源は、私たちの唯一無二の宝物です。そして、その大元に、中央構造線や地すべりなどの「動く大地」が関係しています。これらの地域資源の価値を知り、時にくる自然災害に備え、生きぬき、そして景観を構成する多様な宝物を次世代に繋いでいくために、ジオパークプログラムを通した活動を三好地域一丸となって展開します。この強い思いを軸に活動し続けるため、私たち三好ジオパークのビジョンを以下の通りに定め、推進しています。



**三好の大地に根ざした暮らしを
誇りに思い、生きぬき、未来へつなぐ**

3. 三好ジオパークの推進体制（組織図）

三好ジオパークエリア内にある地質地形遺産ならびにそれらと密接に関係する地域資源を守り、かつ持続可能な形で活用していくための推進・運営母体として「三好ジオパーク推進協議会」があります。私たち推進協議会の現在の協議会構成メンバーは、三好市、東みよし町、徳島県、国、両市町の商工観光団体、教育機関、農林水産団体、まちづくり団体、社会福祉団体など45団体から構成されています。また、推進協議会では、4つの部会や理事会、役員会、総会などにより、活動の方向性や計画、実施内容を決定し、活動を幅広く展開しています。推進協議会の組織体系並びに関係性については以下の図のとおりです。



4. 第1期実行計画の活動の評価と第2期実行計画策定の位置付け

三好ジオパークの目指す方針を短・中・長期的に表すため、2020年11月に三好ジオパークの「基本計画書 第1期実行計画書」が刊行されました。中・長期的な方針を示す「基本計画書」では、当エリア内のジオ（大地）やジオとつながりのある地域資源の特徴を皆で知り、保全し、また教育やツーリズム、防災などの多岐にわたる事業において、協働で活用しつづけるという目標を掲げました。また、三好地域を一人ひとりが誇りに思い、次世代につなぎ、将来にわたって当地域で持続可能な暮らしをしていくための指針であることも明記しました。

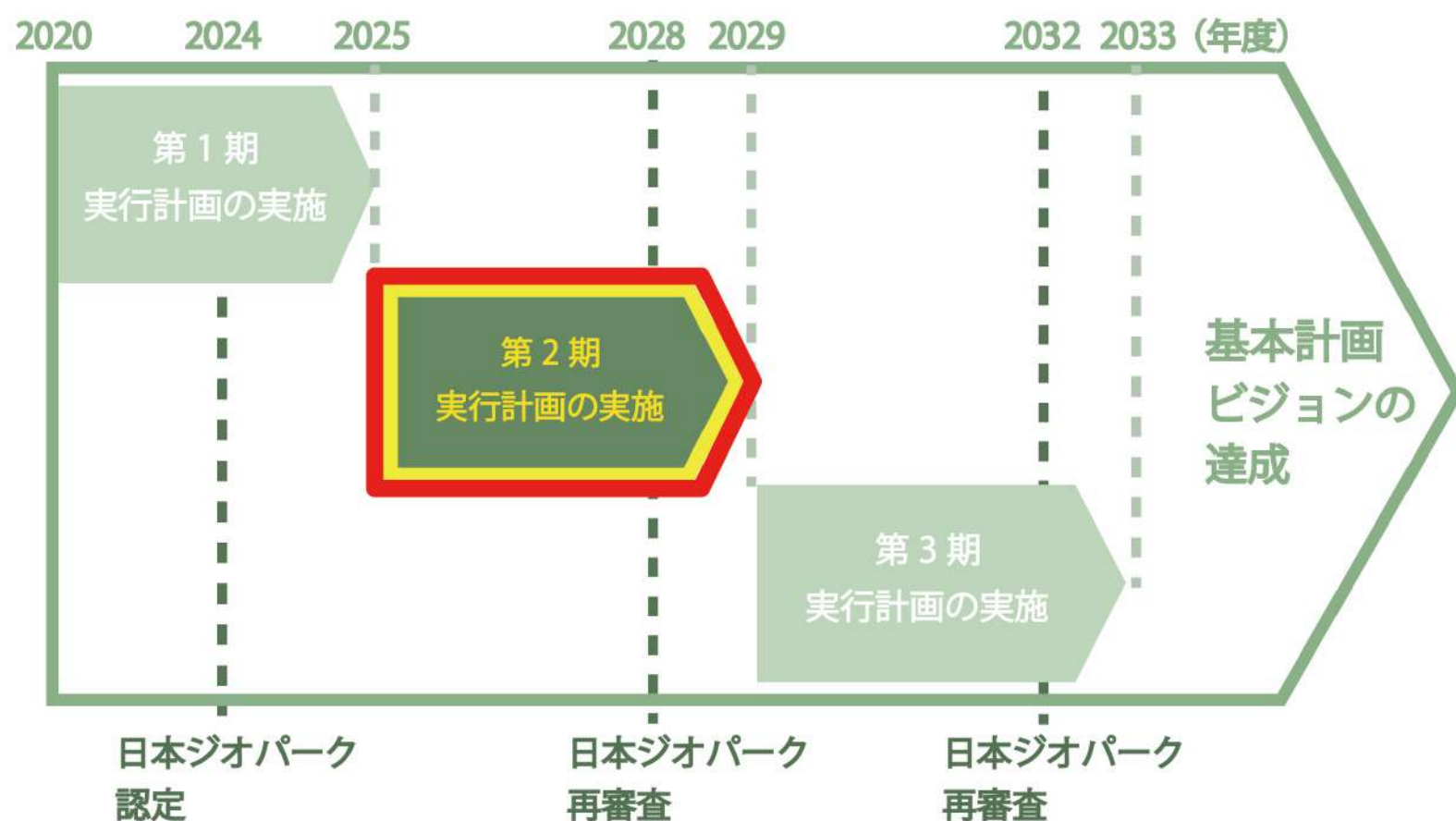
短・中期的な方針を示す「第1期実行計画書」では、2024年度の日本ジオパーク認定を一つの区切りとして捉えて、それまでの活動計画をより具体的に示しました。その中で、第2期実行計画の方針イメージとして「ユネスコ世界ジオパーク並びにJGNの活動状況などや地域の状況を踏まえて、より発展的な形に改訂する」という内容が示されました。

2020年5月に推進協議会が発足し、そして2024年度に日本ジオパーク認定となった今、私たちの短期的な活動方針を改訂する時期に差しかかっています。これまで数年に及ぶ活動の中で、「達成」できたもの、「一部達成」したもの、そしてまだ活動が脆弱で「未達成」のままで終わってしまったものがあります。また、活動を展開していく中で、新たに生じてきた「目標」や「課題」もあります。さらに、2024年10月30日に日本ジオパーク委員会から出された「第52回日本ジオパーク委員会 審査結果通知書」では、三好ジオパークの活動をより良く発展するための6つの指摘事項が提示されました。

これらのことを踏まえ、第1期実行計画の活動方針並びに実際に活動した内容の検証を行い、そして第2期実行計画を作成します。第2期実行計画の遂行と、別冊に策定された「三好ジオパークJGC認定審査の指摘事項に対するアクションプラン2025-2028年度版」（以下、【Acp25-28】で表記）とあわせ、さらなる三好ジオパーク活動を展開し、三好ジオパークのビジョン「三好の大地に根ざした暮らしを誇りに思い、生きぬき、未来へつなぐ」に近づけるよう、挑んでいきます。

5. 第2期実行計画の実施期間

三好ジオパークの第2期実行計画は、2025年5月～2029年5月までの期間とします。第1期実行計画よりもさらに深化・拡充した活動を計画・実施しつつ、第3期実行計画には、より発展的な活動となるように繋げていきます。





第2章：第1期実行計画の活動の評価と 第2期実行計画について

1. 第1期実行計画の活動と評価

三好ジオパークの活動は2017年4月から開始、2020年5月に三好ジオパーク構想推進協議会が発足し、同年11月に「基本計画書・第1期実行計画書」を刊行し、三好ジオパークのビジョン「三好の大地を誇りに想い、生きぬき、未来へつなぐ」へ向かうべく、7つの活動方針を掲げ、多岐にわたる活動を展開してきました。

1. しる、まなぶ（教育活動）

三好の大地ってすごい！～楽しみながらわかる三好ジオ～

2. うる、もうける（ツーリズム活動）

三好の大地になんども来たい！～三好ジオツーリズムとリピーターづくり～

3. まもる、つなぐ（保全活動）

三好の大地の良さを守ろう！～未来へ繋いでいくための保全活動～

4. そなえ、いきぬく（防災活動）

三好の大地で生き抜く！～ジオパークを通じた防災文化づくり～

5. つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク）

三好の大地を伝えつつ、様々な大地の特徴も知ろう！

6. さぐる、しらべる（調査研究活動）

三好の大地の新たな価値を探ろう！～ジオの宝を発掘し、付加価値を高める～

7. おしすすめる（推進体制づくり）

三好の大地の上でジオパーク活動をしよう！～地域愛醸成をつなぐ中核づくり～

第1期実行計画で打ち出した7つの活動方針には、各々複数の個別目標とそれらを達成するための個別事業を設け活動を推進してきました。私たちが打ち立てた目標に対する達成状況の把握、さらに第2期実行計画への改善点や新たにチャレンジする内容が何かを検討するために、第1期実行計画の達成状況を下記に示します。

柱	活動方針	達成事業数(※1)/個別事業数
1	しる、まなぶ（教育活動）	7 / 8 (88%)
2	うる、もうける（ツーリズム活動）	10 / 12 (83%)
3	まもる、つなぐ（保全活動）	5 / 7 (71%)
4	そなえ、いきぬく（防災活動）	6 / 6 (100%)
5	つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク）	5 / 5 (100%)
6	さぐる、しらべる（調査研究活動）	3 / 3 (100%)
7	おしすすめる（推進体制づくり）	3 / 4 (75%)

※1達成事業数は「一部達成」も含む

個別事業総数45事業に対して、「達成」は25事業、「一部達成」は14事業、「未達成」は6事業、総事業数での達成率は一部達成を含み87%でした。

第1期実行計画で打ち出し実施した事業の大枠としては、①三好ジオパークの活動推進のために様々な団体と連携し、活動を定着化させ、継続性のあるものにする（多様な活動の展開と、推進協議会の設立及び運営）。②三好ジオパークの特徴や価値を把握し、整理する（サイトやサイト以外の資源※2の選定、管理のためのカルテやリスト化）。③三好ジオパークのエリアや特徴、魅力が地域内外に周知できるよう、様々な媒体を開発・設置し、発信する（WebやSNS、パンフレット、看板による周知の開始、情報拠点施設の開設）。④学校教育や生涯教育などの様々な教育を通して、三好ジオパークの特徴の理解を促す（小中高校でのジオパーク学習や研修、各種養成講座などの実施）、などでした。推進協議会発足から5年経ち、継続性のある活動が定着化しつつあります。

※2：サイト以外の資源：サイト選定に至らないものの、地質学的、地形学的に深く関係する三好地域での資源がある。これらの資源は、「景観」「口頭伝承」「無形の文化」の3つに区分し、管理し、保全・活用のサポートを行う。

2. 第2期実行計画で目指すもの

三好ジオパークのビジョン「三好の大地を誇りに想い、生きぬき、未来へつなぐ」へさらに近づくべく、第2期実行計画では7つの活動方針内容をより発展的に進化させ、活動を進めます。また、第1期実行計画で進めてきた事業については継続し、脆弱であった取り組みに対して注力し、活動をさらに深化・拡充させていきます。これにより、三好ジオパークエリアにある魅力あるサイトやサイト以外の資源の価値をより高め、教育やツーリズム、防災などに深みある活動に展開していきます。そして三好ジオパークに関わる様々な仲間を増やし、一人ひとりが三好地域の大地とのつながりに触れ、この地域で乗り越えなければならない課題や三好地域の将来について共に考えていくことを目指します。

3. 第2期実行計画について

以上のことを踏まえ、三好ジオパークの第2期実行計画では、7つの活動方針に基づいた以下の短・中期的な活動を進めていきます。

1. しる、まなぶ（教育活動）

三好の大地ってすごい！～楽しみながらわかる三好ジオ～

私たち一人ひとりが三好ジオを語るんでよ！～学びの成長段階に応じた教育活動の展開～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、継続性のある教育活動の展開を目指し、小学生・中学生・高校生を対象に教材の検討、ジオパーク学習を実施しました。また、学校以外で子どもたちの学びの場の提供、大人向けの人材育成事業も展開しました。

第2期実行計画では、第1期で展開した活動を継続しつつ、未就学児や専門学校・研究機関の学生など、これまでよりも多くの人に学びの場を提供することを目指します。

- ① 多くの子どもや学生が継続的なジオパーク学習を行うために、学校現場への出前授業などを関係団体と共に実施します。
 - 教職員に対するジオパーク学習の普及・啓発のために、研修会を実施します。
 - 三好ジオパークを楽しく理解するための副読本など、各種教材の作成を検討し、活用します。
 - 未就学児を対象としたジオパーク学習を展開します。
 - 小学生・中学生・高校生を対象とした、ジオパーク学習の拡充を図るため、新たな学習メニューを開発し、実施します。
 - 専門学校や研究機関の学生に対して、巡検などの受け入れや実施のサポートを行います。
- ② 学校以外で子供達が三好ジオパークを理解し、楽しめる場所づくりを行います。
 - 長期休暇を活用した子供向けのジオパークイベントを継続的に開催します。
 - 休日や放課後などを活用した、科学的な学びの場を提供します。
- ③ 子供から大人まで三好ジオパークを語ることができる人づくりを行います。
 - 地域で活躍する人を増やすため、人材育成事業を継続して行います。
 - 地域に興味を持つきっかけを作るため、各種講演会や研修会、ジオカフェなどを行います。【Acp25-28の④と連動】
 - 三好ジオパーク活動に自主的に参加できる「ジオサポーター」制度の見直しと新たな活用を検討します。

2. うる、もうける（ツーリズム活動）

三好の大地になんども来たい！～三好ジオツーリズムとリピーターづくり～

三好ジオで質のええツアーや商品をつくり、国内外の来訪者が楽しめる環境を整えるでよ！～ジオ目線の各種ツアー創設と促進、ジオと関連する地場産品などへの付加価値づくり、外国人来訪者も楽しめる環境づくり～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、ジオガイドの創設や既存ガイドとの連携を図りつつ、ガイド養成を展開してきました。また、新たなツアーメニューやコースが創設されました。さらに、ロゴマークの作成も行いました。しかしながらロゴマークやジオストーリーを活用した地場産品の商品づくりまでは至りませんでした。世界農業遺産・文化財などの保存に係る機関・団体と連携し、調査やイベントなどを通して普及啓発を進めました。

第2期実行計画では、第1期実行計画から引き続き各種養成や地域の関連事業と連携した活動を推進し、ジオパーク目線のネイチャーツーリズム・アドベンチャーツーリズムの深化を図ります。ジオストーリーやロゴマークを活用し、第1期実行計画時に脆弱であった、地場産品や活動への付加価値向上を進めます。更に外国人来訪者も三好ジオパークを楽しむことができるように環境を整えていきます。

- ① 既存ガイドとジオガイドの連携及びガイド養成を深化します。
- 三好ジオパーク内で活躍するガイド団体への定期的な研修会を開催し、ガイドの質の向上を促します。
 - ガイド団体と連携して各種研修会などを開催していき、ガイドの数を増やします。
- ② 三好ジオパークエリア全体を周遊できるジオパーク目線のネイチャーツーリズム・アドベンチャーツーリズムを促進します。
- ジオパークならではのネイチャーツーリズム・アドベンチャーツーリズムを拡充し更なるコンテンツを増やし、誘客促進を図ります。
 - ジオ周遊コースの充実や開発をさらに進めます。特に東みよし町域でのジオツアーコースや周遊プログラムの創出を図り、活動を深めます。【Acp25-28の④と連動】
- ③ ジオストーリーやロゴマークを活用し、地場産品や活動の付加価値を高めます。ジオストーリーを活用して、地場産品や活動の付加価値を高めていき、三好ジオパークらしいツーリズムコンテンツの強化を図ります。
- ロゴマークを活用して、三好ジオパークのツーリズムコンテンツのブランド力の向上を図ります。
- ④ 当地域の関連事業と連携し、付加価値の伸びしろを見出し、広めます。
三好地域で行われている他の保護プログラム（世界農業遺産事業・文化財関連事業等）と連携し、地域資源の価値の向上を図り、普及啓発活動を行います。
- 地域内外のツーリズム関係者と連携して、ジオを活用した新しいコンテンツづくりや既存コンテンツの付加価値を高めます。
- ⑤ 外国人来訪者も楽しめる環境を作ります。
- 観光関連団体と連携して、外国人来訪者にも対応できるガイドを養成します。
 - 広報・案内・展示ツールの多言語化を進めます。【Acp25-28の①と連動】

3. まもる、つなぐ（保全活動）

三好の大地の良さを守ろう！～未来へ繋いでいくための保全活動～

三好ジオの宝物を守るんでよ！～サイト等の保全方法を決め、地域 みんなが一丸となって行う保全活動を展開～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、44カ所のサイトを設定し、それぞれのサイトカルテを作成しました。また、サイトの清掃活動等を推進することで、地域の保全に対する意識が向上しました。

第2期実行計画では、第1期実行計画で行っていた保全活動を継続しつつ、サイトのモニタリング、サイトやサイト以外の資源の保全計画の検討などを行い、さらなる保全活動を実施します。

①サイトの保全方法をみんなで考え、決定します。【Acp25-28の④、⑥と連動】国の法令や県、市、町で定められた条例などと照らし合わせながら、サイトの保全方法をみんなで考え、決定します。

- 継続したモニタリングを通じてサイト保全状況を把握し、保全活動に繋がります。
- 各サイトの無断サンプリング禁止について周知を行い、破壊行為をなくします。

②サイトの価値を知らせるために、サイト情報を周知する取り組みを行います。【Acp25-28の④と連動】

- サイトやサイト保全方法をWebや看板やツアーなどの様々な媒体を通して周知します。

③さらなるサイトの保全を推進します。【Acp25-28の④と連動】

- 地域 みんなが一丸となってサイトの保全活動を行います。
- 保全チャリティー事業を支援し、サイトの保全資金として役立てます。

④サイト以外の資源に関する保全方針、方法を検討します。【Acp25-28の④と連動】

- 国の法令や県、市、町で定められた条例などと照らし合わせながら、サイト以外の資源の保全方針を決定します。

4. そなえ、いきぬく（防災活動）

三好の大地で生きぬく！～ジオパークを通じた防災文化づくり～

三好ジオの大地の特徴をように知って、自然災害を乗り越えるんでよ！～ジオを活用した防災意識・知識を向上できる仕組みづくり～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、防災部会員と共に大学等の協力を得て、各種取り組みを主体的に運営し、防災意識の向上を図ってきました。

第2期実行計画では、これまでの取組を継続し、内容の充実と利用拡大を目指し、さらに防災啓発コンテンツの作成を行い、より一層の防災意識向上を図ります。

① 地域の防災知識と防災意識を高める活動を図ります。

- 三好ジオパークエリアの地質・地形から災害の歴史を紐解き、それぞれの地域にあったジオパーク防災教育活動を、学校や地域の団体・防災部会員と共に行います。
- 地域の防災活動団体（消防団や防災士会、国・県等）や研究機関と連携して防災活動を展開します。さらに、地域の防災啓発コンテンツの作成を目指します。

② 三好の大地の脅威と共生する人々の暮らしを地域内外に発信します。

- 三好地域内外で行われる防災イベントにおいてジオパーク防災活動の周知を行います。
- ジオパークネットワーク内での連携を図り、防災活動の広がりを作ると共に、当エリアにおける防災活動を広く発信します。
- 研究機関や調査機関と連携し、防災教育や地域防災関連事業を研究し実践して、成果を各方面に発信します。

5. つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク） 三好の大地を伝えつつ、様々な大地の特徴も知ろう！

三好ジオの特徴や魅力、活動をようけの人に知ってもらうでよ！～メディアやSNSを通じた積極的な広報活動の展開とジオパークネットワークへの貢献～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、三好ジオパークのWebやSNS等の立ち上げ、ガイドブックの発行、看板等の設置が始まり、三好ジオパークの特徴や魅力、活動について発信してきました。また全国大会や他地域ジオパークとの交流を通して、JGNへ様々な貢献も行なってきました。

第2期実行計画では、第1期実行計画で始まった様々な媒体を活用した情報発信を引き続き行いつつ、内容の充実を図ります。また、全域的な情報発信の施設整備について検討しつつ、より良い形へ改善していきます。

- ① あらゆる媒体を通して三好ジオパークの特徴や魅力、活動を情報発信していきます。
- 三好ジオパークの特徴や魅力を楽しみながら理解するために、WebやSNSの運営を引き続き行いつつ、中身の充実を図ります。【Acp25-28の①、②と連動】
 - 三好ジオパークを理解・周遊するためのツールとして、各エリアのパンフレットなどの作成を行います。また、看板整備計画にもとづき、説明看板・サイト看板等の設置も引き続き行います。【Acp25-28の②と連動】
 - マスメディアを活用し、三好ジオパークの特徴や魅力、活動の情報を発信していきます。
 - 三好ジオパークの全域的な情報発信の施設の整備の見直しや改善のため、みんなで改めて検討し、計画を立て、整備を目指します。また、現在の情報発信施設である「とこじお」の展示内容についても再検討し、改善します。【Acp25-28の①、②と連動】
- ② 日本ジオパークネットワーク活動に積極的にみんなで参加し、貢献します。
- ジオパークおよびジオパーク関連地域との交流促進を行い、絆を深めます。また、三好ジオパークの特徴や魅力、活動などを発信し、ネットワーク活動に貢献します。

6. さぐる、しらべる（調査研究活動）

三好の大地の新たな価値を探ろう！～ジオの宝を発掘し、付加価値を高める～

価値あるものをきちんと調べて残すんでよ～三好ジオパークを構成する宝物（地域資源）の新たな価値を調査研究活動により見出し、特徴や魅力を向上する～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、「サイトカルテ」事業を通して、サイトの特徴や状況を把握する取り組みを行いつつ、新たな価値の発掘を行いました。また、三好ジオパークの価値の発掘のために、学術助成制度も設立しました。

第2期実行計画では、第1期実行計画で創設されたサイトカルテ事業や遺産リスト事業などを遂行し、学術助成事業も引き続き行いながら、「地域資源の学術的な価値づけ」をさらに進めます。

- ① 三好ジオパークの宝物（地域資源）を調査研究により価値づけをさらに進めます。
- サイト（ジオサイト・エコサイト・カルチュラルサイト）、そして景観や無形の文化などの三好ジオパークを特徴づける資源について、さらに調査研究を行い、価値を高め、その特徴などを把握していきます。【Acp25-28の⑥と連動】
 - 未発掘の地域資源についても同様に、学術調査のサポートなどを行い、現状を把握し、その価値を高めていきます。
 - ジオパークに関係する学術的調査研究の支援として、助成制度を引き続き設け、地域資源の価値の発掘と保全をみんなで考え、推進していきます。

7. おしすすめる（推進体制づくり）

三好の大地の上でジオパーク活動をしよう！～地域愛醸成をつなぐ中核づくり～

未来を見据え、考え、活動していくんですよ！～推進協議会の体制強化と継続
ある活動～

【第1期実行計画の評価と第2期実行計画の重点事項】

第1期実行計画では、推進協議会の設立並びに運営を潤滑にしていくことに注力し、様々な団体との連携や協力で三好ジオパークの活動を推進してきました。また「基本計画書・第1期実行計画書」にもとづいた様々な活動が展開され、さらにそれらをサポートする予算やマンパワーが拡充されてきました。

第2期実行計画では、第1期実行計画で育んだ推進協議会の運営体制をさらにパワーアップし、また共に活動する仲間と連携を深めるための「パートナーシップ制度」の確立および協定の締結を行います。

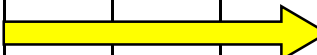
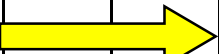
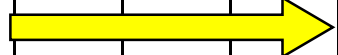
- ①三好ジオパーク推進協議会の体制を強化し、運営を発展させていきます。
- ジオパークを通して地域愛をさらに高めるために、三好ジオパーク推進協議会の運営を効果的に行い、諸活動をこれまで以上に「推し進め」ます。
- 三好ジオパーク推進協議会の運営を潤滑に遂行するために、三好市と東みよし町での事務局体制の充実を図ります。また、運営を長期的に発展させていくための事業予算を確立していくため、補助制度等の活用を検討していきます。【Acp25-28の④と連動】
- 中・長期を見据えた基本計画に基づき、ジオパーク活動をさらに発展的に遂行できるように、第2期実行計画を策定し、実行します。実行計画はジオパーク活動の発展に応じて改定していきます。
- 三好ジオパークの活動を共に行う仲間と連携を深めるために、パートナーシップ制度の確立、各団体との協定の締結を行います。また、様々な団体が三好ジオパークで活動が推進できるように、活動助成制度でのサポートも行います。【Acp25-28の③と連動】

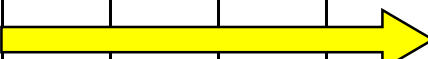
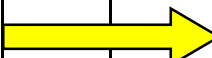
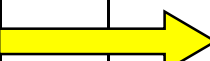
表1：第2期実行計画について

1. しる、まなぶ（教育活動）

三好の大地ってすごい！～楽しみながらわかる三好ジオ～

◆私たち一人ひとりが三好のジオを語るんでよ！～学びの成長段階に応じた教育活動の展開～

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
①多くの子どもや学生が継続的なジオパーク学習を行うために、学校現場への出前授業などを関係団体と共に実施する	教職員に対するジオパーク学習の普及・啓発	教職員対象の研修の実施					iB.5、iD.1-.3、iD.5-10、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、iiB.8、iiC.2-3、 ivA.2m、vA.14
	楽しく理解するための副読本など、各種教材の作成	教材の検討・開発					iD.6-8、iiA.1.f-g、iiA.1.j、 iiA.2d、iiA.2f、 iiA.2h、iiA3.d-e、 iiA.3g、ivA.2l-m
		教材の活用					iB.5、iD.1、iD.3-10、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、iiB.4、iiB.8、 iiC.2-3、ivA.2m
	未就学児を対象とした、ジオパーク学習の展開	教材の開発					iD.6-8、iiA.1.f-g、 iiA.1.j、iiA.2d、iiA.2f、 iiA.2h、iiA.3d-e、 iiA.3g、ivA.2l-m
		教材の活用					iB.5、iD.1、iD.3-10、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、iiB.4、iiB.8、 iiC2-3、ivA.2m
	小学生・中学生・高校生を対象とした、ジオパーク学習の拡充	学習メニューの開発・実施 ジオパーク学習の実施					iB.5、iD.1、iD.3-10、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、iiB.4、iiB.8、 iiC2-3、ivA.2m
	専門学校や研究機関の学生へのサポートの充実	巡検の受け入れ・実施のサポート					iB.5、iD.1、iD.3-10、iE.3、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3.d-g、iiB.4、iiB.6、 iiB.8、iiC.2-3、ivA.2m
	②学校以外で子供達が三好ジオパークを理解し、楽しめる場所づくりを行う	長期休暇を活用した子供向けのジオパークイベントを継続して実施	三季休暇・大型連休でイベントの実施				
休日や、放課後などを活用した科学的な学びの場の提供		ジオカフェやツアーの開催、または開催のサポート					iB.5、iD.1、iD.3-10、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-1.k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、iiB.4、iiB.8、 iiC2-3、ivA.2m

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
③子供から大人まで 三好ジオパークを語 ることができる人づ くり	地域で活躍する人を増やす	人材育成事業の継続 (三好ジオ暮らし方カレッジ)					iB.5、iD.1、iD.5、iD.8-10、 iF7.b、iF7.d、iiA.1.c-d、 iiA.1.f-k、iiA.2.c-d、 iiA.2.f-h、iiA.3d-g、 iiB.4-6、iiB.8
	地域に興味を持つきっかけを作る	講演会、研修会、ジオカフェ					iB.5、iD.1、iD.5、iD.8-10、 iF7.a-d、iiA.1.c-d、 iiA.1.f-k、iiA.2.c-d、 iiA.2.f-h、iiA.3d-g、 iiB.4-6、iiB.8、iiC.2-4
	三好ジオパーク活動に自主的に参 加できる「ジオサポーター」制度 の見直し・新たな活用	制度の見直し					iB.5、iF.3.a、iF.3.d、iF3h、 iiA.1.d、iiA.1.h-i、iiA.1.k
		制度の新たな活用を検討					

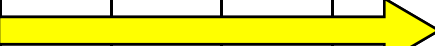
※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

2. うる、もうける（ツーリズム活動）

三好の大地になんども来たい！～三好ジオツーリズムとリピーターづくり～

◆三好ジオで質のええツアーや商品をつくり、国内外の来訪者が楽しめる環境を整えるんでよ！～ジオ目線の各種ツアー創設と促進、ジオと関連する地場産品などへの付加価値づくり、外国人来訪者も楽しめる環境づくり～

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係	
大項目	個別目標	個別事業	期間					
			2025	2026	2027	2028		
①既存ガイドとジオガイドの連携及びガイド養成を深化	ガイド団体への定期的な研修会を開催、ガイドの質の向上を促す	ガイドと連携した研修会・勉強会を実施する					iF.6.e、ivA.2h-i	
	ガイドの数を増やす	プチガイド養成講座のサポートや、その他養成講座を実施する					iF.6.e、ivA.2h-i	
②三好ジオパークエリア全体を周遊できるジオパーク目線のネイチャーツーリズム・アドベンチャーツーリズムを促進する ※ネイチャーツーリズム：自然を目的とした観光形態で、自然の景観であったり野生生物、星空などを鑑賞する旅行 ※アドベンチャーツーリズム：アクティビティ・自然・文化体験の3要素の内2つ以上で構成されている旅行	ジオパークならではのネイチャーツーリズム・アドベンチャーツーリズムを拡充し更なるコンテンツを増やし誘客促進を図る	ジオパーク目線で自然景観や野生生物を鑑賞するネイチャーツーリズムを拡充し更なるコンテンツを増やし誘客を促進する					iB.5、iF.3.c、 iF.6.d-e、iF.7.a-d、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiB.4、iiB.8、iiC.2-3	
		自然（ジオ）と文化、アクティビティを組み合わせたジオパーク目線のアドベンチャーツーリズムを拡充し更なるコンテンツを増やして誘客を促進する					iB.5、iF.3.c、iF.6.d-e、 iF.7.a-d、iiA.1.c-d、 iiA.1.f-k、iiA.2.c-d、 iiA.2.f-h、iiA.3.d-g、 iiB.4、iiB.8、iiC.2-3、 ivA.2l、vA.14	
	ジオ周遊プログラムを創出し、活動を深化する	エリア内全域ヘジオツアーを拡充する					iB.5、iF.3.c、iF.6.d-e、 iF.7.a-d、iiA.1.c-d、 iiA.1.f-k、iiA.2.c-d、 iiA.2f-h、iiA.3d-g、 iiB.4、iiB.8、iiC.2-3、 ivA.2l、vA.14	
		来訪者が独自でエリア内を巡る周遊コースの設定とシステムを構築する					iC.8-9、iC.14、iF.1a-b、 iF.2a-d、iF.3.a-c、 iF.3.e-i、iF.4.a-c、iF.6.c、 iF.6.h	
	③ジオストーリーやロゴマークを活用し、地場産品や活動の付加価値を高める	ジオストーリーを活用して、地場産品や活動の付加価値を高めていき、三好ジオパークらしいツーリズムコンテンツを強化する	パートナーシップ協定締結事業者と連携して、三好ジオパークを感じさせる商品を検討・開発する					iB.5、iF.5.c-e、iF6.g、 ivA.2.k、viiB.3
		ロゴマークを活用して、三好ジオパークのツーリズムコンテンツのブランド力向上を図る	三好の大地を感じさせる商品ヘロゴマークを表示する					iF.5.c-e、ivA.2.k

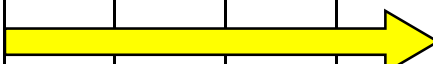
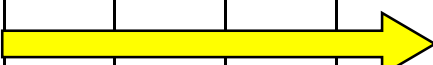
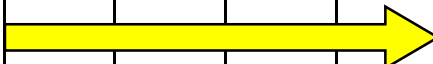
第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
④当地域の関連事業 と連携し、付加価値 の伸びしろを見出し、広める	三好地域で行われている他の保護 プログラム（世界農業遺産事業・ 文化財関連事業等）と連携し、地 域資源の価値の向上を図り、普及 啓発活動を行う	徳島剣山世界農業遺産推進協議会 と連携して、イベントや研修会、 講座、掲示物等で周知をする					iB.5、iD.7-10、iF5.c-e、 iF.6.e、iF.7.a-b、iF.7.d、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3d-g、ivA.2全て、 vA.14
		三好の大地の成り立ちと関係する 文化財について、イベントや研修 会、講座、掲示物等で周知をする					iB.5、iD.7-10、iF.6.e、 iF.7.a-b、iF.7.d、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3.d-g、vA.14
		地域の中で継承されている様々な 遺産について、イベントや研修 会、講座、掲示物等で周知をする					iB.5、iD.7-10、iF.6.e、 iF.7.a-b、iF.7.d、 iiA.1.c-d、iiA.1.f-k、 iiA.2.c-d、iiA.2.f-h、 iiA.3.d-g、iiB.2-9、 iiC2-4、vA.14、viiB.3
	地域内外のツーリズム関係者と連 携して、ジオを活用した新しいコ ンテンツづくりや既存コンテンツ の付加価値を高める	既存のツーリズム商品にジオス トーリーを付加して価値を高めて いく					iB.5、iF.5.c-e、ivA.2.k、 iF.6.d-e
		観光事業者（旅行代理店・観光施 設・宿泊施設等）と連携して、三 好のジオストーリーが感じられる 旅行商品を造成する					iB.5、iF.5.c-e、iF.6.d-e
	⑤外国人来訪者も楽 しめる環境を作る	外国人来訪者にも対応したガイド 養成を実施	観光関連団体と連携したインバウ ンドにも対応するガイドの養成講 座を検討・実施する	 検討		 実施	
広報・案内・展示ツールの多言語 化		拠点施設、Webサイト、ガイド ブック、看板類などの広報・案内 ツールの多言語化を推進する					iF.3.f

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

3. まもる、つなぐ（保全活動）

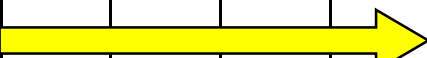
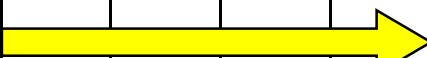
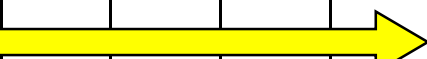
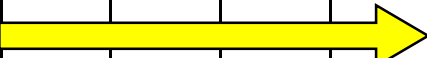
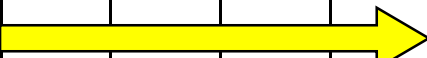
三好の大地の良さを守ろう！～未来に繋いでいくための保全活動～

◆三好ジオの宝物を守るんでよ！～サイト等の保全方法を決め、地域みんなが一丸となって行う活動を展開～

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
①サイトの保全方法をみんなで考え、決定する	国の法令や県、市、町で定められた条例などと照らし合わせながら、サイトの保全方法を考え、決定する	保全計画の策定					iC.7-9、iC.11-15、 iiA.1.e-g、iiA.1.j、 iiA.2.d-f、iiA.3.c-d、 iiiB.11、ivA.2.g、ivA.2.l、 vA.7-9、viiA.1~4
		既存保全団体との協力関係の構築					
	継続的なモニタリングを通じたサイト保全状況の把握	サイトのモニタリングの実施					iC.2-4、iC.7-15、iF.4.a-d、 iF.6.i、iiA.1.a-b、iiA.1.h、 iiA.2.a-b、ivA.2l、 vii.A.1-6、iivA.8-10
		サイトカルテ（個票）の更新・見直し					
	各サイトにおける無断サンプリングの禁止について周知し、破壊行為をなくす	サンプリングに対する注意喚起					iC.7-9、iC.12-15、iF.4.d、 iiA.1.h、iiA.1.k、iiC.1、 viiA1-7
②サイトの価値を知らせるために、サイト情報を周知する取り組みを行う	サイトやサイト保全方法をWebや看板やツアーなどの様々な媒体を通して周知する	様々な媒体を通しての周知・啓発活動					iB.5、iC.7~9、iC.12-15、 iF.1.d、iF.3a-c、iF.3.e-i、 iF.4a-d、iiA.1.c-d、 iiA.1.h-i、iiA.1.k、iiA.2.c、 iiA.2.g、viiA.1-4、viiA.6
③さらなるサイトの保全の推進	地域みんなが一丸となってサイトの保全活動を行う	サイト及びサイト周辺の清掃活動の深化、拡充					iC.7~15、iiA.1.f-g、 iiA.1.j-k、iiA.2.d、iiA.2.f、 iiA.2.h、ivA.2.g、ivA.2.l
		保全計画に基づく保全活動の実施					
	保全チャリティー事業を支援し、サイトの保全資金として役立てる	保全チャリティー事業の支援					iC.12、iiA.1.j-k、iiA.2.d、 iiA.2.f、iiA.2.h、ivA.2.g、 ivA.2.l
		保全チャリティー資金活用に向けた協議					
④サイト以外の資源に関する保全方針、方法の検討	国の法令や県、市、町で定められた条例などと照らし合わせながら、サイト以外の資源の保全方法を考え、方針を決定する	サイト以外の資源のサイトカルテ（個票）の作成					iC.2-4、iC.7-15、iF.4.a-d、 iF.6.i、iiA.1.a-b、 iiA.2.a-b、iiA.3a-b、 ivA.2l
		サイト以外の資源の保全方針を決定する					

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

4. そなえ、いきぬく（防災活動）
三好の大地で生き抜く！～ジオパークを通じた防災文化づくり～
◆三好ジオの大地の特徴をように知って、自然災害を乗り越えるんでよ！
～ジオを活用した防災意識・知識を向上できる仕組みづくり～

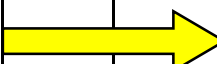
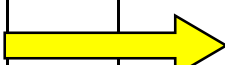
第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
①地域の防災知識と 防災意識を高める活 動を図る	三好の地質・地形から災害の歴史 を紐解き、それぞれの地域にあっ たジオパーク防災教育活動を、学 校や地域の団体、防災部会員と共 に行う	ジオ視点の学校防災教育プログラ ムの推進。					iB.5、iD.1、iD.3-10、 iiB.1-8
		長期休暇時期におけるジオ防災教 育イベント開催を目指す。					
		市民向け防災啓発行事に積極的・ 主体的に参加					
	地域の防災活動団体（消防団や防 災士会、国・県等）や研究機関と 連携して防災活動を展開する	ジオ視点の地域防災活動を（大学 等の研究機関や国・県・消防団・ 防災士会等）と共同して取り組む					iB.5、iD.9、iiB.1-8、 vA.1-13
		地域防災啓発コンテンツの作成を 目指す					iB.5、iD.1、iD.5-10、 iiB.1-8
②三好の大地の脅威 と共生する人々の暮 らしを地域内外に発 信する	三好地域内外で行われる防災イベ ントにおいてジオパーク防災活動 の周知を行う	三好で行われる防災啓発事業にお いて、ジオ視点の地域特性と結び つけた防災活動を広める取組を進 める。					iB.5、iiB.1-8
	ジオパークネットワーク内での連 携を図り、防災活動の広がりを作 ると共に、当エリアにおける防災 活動を広く発信する	中四国近畿ブロックのジオパーク 地域との連携をととして防災活動 の質を高め、JGNなどの交流会 などで活動発信を行っていく。					iB.5、iiB.1-8、viA.3-4、 viA.8.
	研究機関や調査機関と連携し、防 災教育や地域防災関連事業を研究 し、実践して、成果を各方面に発 信する	四国内の大学や研究機関と共同 で、それぞれの地域にあった地域 防災活動の種類と推進方法を研究 し、実践し、成果を各方面に発信 していく。					iB.5、iE.2-3、iiB.1~8、 vA.11-13

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

5. つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク）

三好の大地を伝えつつ、様々な大地の特徴を知ろう！

◆三好ジオの特徴や魅力、活動をようけの人に知ってもらうんでよ！～メディアやSNSを通じた積極的な広報活動の展開とジオパークネットワークへの貢献～

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
①あらゆる媒体を通して三好ジオパークの特徴や魅力、活動を発信する	三好ジオパークの特徴や魅力を楽しみながら理解するためのWebやSNSの運営	HP、Facebook、Instagram、X、YouTube等の中身の充実を図る					iB.5、iC8-9、iC.14、 iF.1.a-b、iF.3.a~d、 iF.3.h、iF.3.j、iF.6.c、 iF.6.h、iiA.1.c-d、 iiA.1.h-i、iiA.1.k、iiA.2.c、 iiA.2.g、iiA.3. f
	三好ジオパークを理解・周遊するためのツールとして、各エリアのパンフレットなどを作成し、看板整備計画にもとづき説明看板・サイト看板等を設置する	各エリアなどのパンフレットの作成					iB.5、iC8-9、iC.14、 iF.1.a-b、iF.3.e-g、 iF.6.c、iF6.h、 iiA.1.c-d、iiA.1.h-i、 iiA.2.c、iiA.2.g、iiA.3. f
		看板整備計画に基づく各種看板の整備					iB.5、iC8-9、iC.14、 iF.1.a-d、iF6.h、iiA.1.c、 iiA.1.h-i、iiA.2.c、 iiA.2.g、iiA.3. f
	マスメディアを活用し三好ジオパークの特徴や魅力、活動の情報を発信	マスメディアへの情報発信					iB.5、iF.1. a-b、 iiA.1.c-d、iiA.1.h-i、 iiA.2.c、iiA.2.g、iiA.3. f
	三好ジオパークの全域的な情報発信の施設の整備の見直しや改善のため、みんなで改めて検討し、計画を立て、整備を目指す	全域的な情報発信の施設の整備の見直し計画づくり					iF.1全て、iF.2全て、 iiiB.11
		全域的な情報発信の施設の整備の見直し計画に基づく整備					
	情報発信施設「とこじお」の展示内容を再検討し、改善する	とこじおの展示内容の改善					iB.5、iF.1. a-b、 iF.2.a-d、iiA.1.c-d、 iiA.1.h-i、iiA.2.c、 iiA.2.g、iiA.3. f
	②日本ジオパークネットワーク活動に積極的にみんなで参加し、貢献する	ジオパークおよびジオパーク関連地域との交流促進を行い、絆を深め、三好ジオパークの特徴や魅力、活動などを発信する	JGNの各種研修、全国大会、事務局長会議等に積極的に参加し、情報の共有を行う				

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

6. さぐる、しらべる（調査研究活動）

三好の大地の新たな価値を探ろう！～ジオの宝を発掘し、付加価値を高める～

◆価値あるものをきちんと調べて残すんですよ！ ～三好ジオパークを構成する宝物（地域資源）の新たな価値を調査研究活動により見出し、特徴や魅力を向上する～

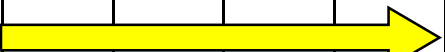
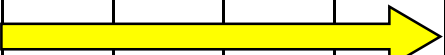
第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
三好ジオパーク の宝物（地域資源）を調査研究 により価値づけ をさらに進める	サイトや景観、無形の文化などの 三好ジオパークを特徴づける資源 について、さらに調査研究を行 い、価値を高め、その特徴などを 把握する	カルテ等作成事業（サイトカル テ、遺産リスト）と連携した地域 資源の学術的調査					iB.1、iB.4、iC.1-4、 iC.10、iE.2、iF4.d、 iiA.1.a-b、iiA.1.f、 iiA.1.h、iiA.1.j、 iiA.2.a-b、iiA.2.d、 iiA.2.f、iiA.3.a-b、 iiA.3.d、iiiA.4、iiiB.11、 vA.7-9
	未発掘の地域資源についても学術 調査のサポートなどを行い、価値 を高める	その他の地域資源の価値を高める ための学術調査のサポート					iB.2、iC.3-4、iC.10、 iE.2-3、iiA.1.a-b、iiA.1.f、 iiA.1.h、iiA.1.j、iiA.2.a-b、 iiA.2.d、iiA.2.f、iiA.3.a-b、 iiA.3.d、iiiA.4、iiiB.11、 vA.7-9、vA.15
	学術的調査研究を支援する	三好ジオパーク学術研究助成事業					iB.2、iB.4、iE.1-6 iiiA.2-4、iiiB.11、vA.9、 vA.15

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

7. おしすすめる（推進体制づくり）

三好の大地の上でジオパーク活動をしよう！～地域愛醸成をつなぐ中核づくり～

◆未来を見据え、考え、活動していくんでよ！ ～推進協議会の体制強化と継続ある活動～

第2期実行計画							自己評価表※ の項目番号との関係
大項目	個別目標	個別事業	期間				
			2025	2026	2027	2028	
三好ジオパーク推進協議会の体制を強化し、運営を発展させる	ジオパークを通して地域愛をさらに高めるために、三好ジオパーク推進協議会の運営を効果的に行い、諸活動をさらに「推し進め」る	定期総会、役員会、部会その他会議、研修会の実施					iiiA.1-5、iiiB.1-.6、iiiB.9、iiiB.11-.16、ivA2.d、ivA2.g、ivA2.h、ivA2.l、vA全て
	三好市と東みよし町での事務局体制を充実させ、運営を長期的に発展させていく事業予算を確立していくため、補助制度等の活用を検討する	三好市と東みよし町の事務局体制をさらに強化					iiiA.1-4、iiiB.1-6、iiiB.9、iiiB.11、vA全て
		あらゆる補助制度の活用					iiiA.2-4
	ジオパーク活動をさらに発展的に遂行できるように、第2期実行計画を策定し、実行する	第2期実行計画を策定					iiiB.11-16、vA全て
		第2期実行計画の実行					iiiB.11~16、vA全て
	三好ジオパークの活動を共に行う仲間と連携を深めるために、パートナーシップ制度の確立と各団体との協定の締結、様々な団体が三好ジオパークで活動が推進できるように、活動助成制度でのサポートを行う	パートナーシップ協定の制度確立					iE.1、iF.2.d、iF.3.d、iF.5.a-iF.5.f、iF.6.d、iiA.1.e、iiA.2.e、iiA.3.c、iiB.2、iiB6、iiC.1、iiC.4、iiiA.5、iiiB.5、ivA.2.e
		各団体とパートナーシップ協定の締結					
		ジオパーク活動助成制度でのサポート					iF.5.d、iF.6.g、iF.7.a-d、iiB.2、iiB.6、iiC.4、iiiA.2-4、iiiB.11、viiB.3

※自己評価表：ユネスコ世界ジオパーク自己評価表A

表2：サイト-三好の大が育んだ守るべき宝物（2025年度版）

ジオサイト 【全19箇所】			
No	分類	サイト名	箇所
1	I-1	三名の含レキ片岩	山城町西宇
2	I-2	祖谷の含レキ片岩	西祖谷山村一字
3	II-1	背斜構造と微褶曲・石英脈群	大歩危・小歩危(吉野川岸壁)
4	II-2	獅子岩	大歩危(吉野川岸壁)
5	II-3	ひの字溪谷	西祖谷山村田ノ内(ひの字溪谷)
6	II-4	善徳・今久保の地すべり地形	西祖谷山村善徳・今久保
7	II-5	有瀬の地すべり地形	西祖谷山村有瀬
8	II-6	三嶺の池	東祖谷三嶺
9	IV-1	池田断層 断層崖	池田町ウエノ・マチ間
10	IV-2	太刀野の中央構造線	三野町太刀野(道の駅三野)
11	IV-3	猪鼻道路の中央構造線	池田町州津
12	V-1	シンヤマの地すべり塊	池田町シンヤマ(八幡神社参道)
13	V-2	西山の地すべり地形	池田町西山・洞草
14	V-3	井ノ久保の地すべり地形	池田町井ノ久保
15	V-4	芝生衝上断層	三野町芝生(三野町運動公園東側)
16	V-5	王地の扇状地	三野町加茂野宮地区
17	V-6	中西の河成段丘露頭	池田町中西
18	IV-4	和泉層群向斜軸部	東みよし町増川
19	IV-5	加茂の中央構造線露頭	東みよし町加茂
カルチュラルサイト 【全19箇所】			
No	分類	サイト名	箇所
1	I-1	剣山の御塔石	剣山(大劔神社付近)
2	I-2	平谷の治山堰堤群	東祖谷菅生(北岸・塔丸西側斜面)
3	VI-C-1	池田城跡の石垣	池田町ウエノ
4	VI-C-2	八石城跡	井川町井内西
5	VI-C-3	箸蔵寺の高灯籠	池田町箸蔵
6	VI-C-4	落合集落	東祖谷落合
7	VI-C-5	祖谷の蔓橋	西祖谷山村善徳
8	VI-C-6	五所神社の大スギ	西祖谷山村上吾橋
9	VI-C-7	阿佐家住宅	東祖谷阿佐
10	VI-C-8	徳善家住宅	西祖谷山村徳善
11	VI-C-9	腕山牧場	西祖谷山村・井川町
12	V-C-1	白地湧水	池田町白地井ノ久保
13	VI-C-10	美濃田の淵	東みよし町小山
14	VI-C-11	足代東原遺跡	東みよし町足代東原
15	VI-C-12	天橋立神社の浸水記録	東みよし町昼間
16	VI-C-13	加茂の大クス	東みよし町加茂
17	VI-C-14	丹田古墳	東みよし町丹田
18	VI-C-15	加茂谷の岩陰遺跡一号、二号	東みよし町西庄
19	VI-C-16	足代城跡のものみのはな	東みよし町足代宮ノ岡
エコサイト 【全6箇所】			
No	分類	サイト名	箇所
1	VI-E-1	黒沢湿原と周辺森林	池田町漆川
2	VI-E-2	塩塚高原の草原	山城町平野
3	VI-E-3	三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落	東祖谷
4	VI-E-4	大歩危の河床植物群落	大歩危(吉野川岸壁)
5	VI-E-5	野鹿池山の湿地とその周辺の自然林	山城町上名
6	VI-E-6	落合峠のササ原	東祖谷落合
サイト計44箇所			

景観			8箇所
No	分類	サイト名	箇所
1	－	三野の灌漑用水とため池	三野町岩角、三野町一円
2	－	阿波池田のまちなみ	池田町シンヤマの麓から井川町との境目までの一帯
3	－	吉野川中流域の狭窄部	井川町辻地区周辺
4	－	古宮嶽と鶏足山	西祖谷山村南山
5	－	四国山地の傾斜地畑	四国山地沿い一帯
6	－	讃岐山脈の傾斜地畑	讃岐山脈沿い一帯
7	－	傾斜地の住まい	エリア内傾斜地集落
8	－	四国山地の急峻な溪谷	四国山地の溪谷一円
口頭伝承			2箇所
No	分類	サイト名	箇所
1	－	藤川谷の妖怪	山城町藤川谷
2	－	銅山川沿いの狸	山城町一円
無形の文化			1箇所
No	分類	サイト名	箇所
1	－	西祖谷の神代踊	西祖谷山村

◎参考

【ジオサイトとは】

守るべき大地の特徴が見られる場所

【カルチュラルサイトとは】

大地と関係した守るべき文化が見られる場所

【エコサイトとは】

大地と関係した守るべき生態系が見られる場所

◎参考： サイトと別の位置づけした項目の説明

【景観】

地質学的、地形学的な特徴がベースとなって生物的、人文的環境が構築、継承されてきた景色、景観、風景

【口頭伝承】

地質学的、地形学的に特徴がベースとなって構築、継承されている、云われ、民話、伝説など

【無形の文化】

地質学的、地形学的に特徴がベースとなって構築、継承されている芸能、慣習、儀式、祭礼行事など